

### 3 障がい者の人権

※「害」の表記については、法令などの名称及び法令などで定められている用語などで漢字表記が使用されている場合、又は機関、団体などの固有名詞が漢字表記となっている場合を除き、原則としてひらがなで表記しています。

#### ワーク 1

1～3は障がいのある人にとってそれぞれ問題となる可能性があります。どのようなことが問題となるのかを考えながら、障がいの種類をそれぞれ下から選んで書きましょう。

1 ハイブリッドカー	
2 カラフルな服装	
3 大きな音	

聴覚障がい / 視覚障がい / 肢体不自由 / 自閉スペクトラム症 / 知的障がい / その他

#### ワーク 2

こんな映画を見たことはないだろうか？ある日目覚めると幽霊（ゴースト）になっているのだけれど、自分が死んだことが分からない。ぼくもそんなふうだった。みんなぼくがいないかのようにふるまっているけど、なぜなのかがわからない。「ぼくを見て」と必死で頼み、訴え、叫び、金切り声を上げようとするが、誰も気づいてもらえない。ぼくの心は使いものにならない身体に閉じ込められて、腕も足も思い通りにならず、声も出せない。「意識が戻ったよ！」と伝えるサインも音も出すことができない。ぼくは誰の目にも映らない、幽霊少年（ゴーストボーイ）なのだ。

「ゴースト・ボーイ」著者 マーティン・ピストリウス ミーガン・ロイド・デイヴィス  
訳 長澤あかね PHP研究所（平成28年6月）より

大きな障がいと向き合ったマーティン・ピストリウスさんの映像を見て、（1）～（4）の問いに答えましょう。

（1）ピストリウスさんにはどのような障がいがあり、どのような支援を必要としていますか。

(2) 周囲の家族や、医師、ケアハウスのスタッフは、なぜピストリウスさんが意識を取り戻したことに気づかなかったのでしょうか。

(3) その結果、ピストリウスさんはどのような思いをしていましたか。

(4) アロマセラピストはピストリウスさんが意識を取り戻していることに、どうして気づくことができたのでしょうか。

### ワーク 3

障がいのある人たちが社会とつながるために、私たちは何ができると思いますか。今日学んだ内容から考えてみましょう。

# 解説 3 障がい者の人権

## 1 ねらい

障がい者の人権問題では、障がいのあるなしに関わらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することが大きな目標である。いわゆる「障害者差別解消法」が平成28年4月1日から施行されるなど、法的な改善は進んではいるが、目標達成のためには、私たち一人ひとりが障がいに対する先入観にとらわれることなく、相手の状況や場面、心情に応じた配慮や支援を考える力を養い、より具体的なサポートをすることが大切である。

ここでは、1人のセラピストの注意深い観察力と丁寧な関わりが、マーティン・ピストリウスさんが社会復帰する第1歩へとつながったエピソードをとおり、他者を思いやり、具体的な支援を行おうとする意欲と態度を育みたい。

## 2 進め方

展開例（50分 3～4人のグループを作る）

学習活動	指導上の留意点
<b>1 ワーク1</b> (10分) 1から3のキーワードから障がいの種類を考え、選んで書く。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 様々な障がいについて知り、具体的にどのようなことで困っているのかを学ぶ。障がい名はまわりと区別するためのものではなく、支援のヒントとなるものであることを強調する。</li><li>○ 生徒や家族に当事者がいる可能性もふまえ、授業を展開する。</li></ul>
<b>2 ワーク2</b> (30分) ① ピストリウスさんの映像を視聴し、教師の説明を聞いて、各グループで(1)～(4)を考える。(20分) ② 彼とまわりの人々の状況や関わり方、彼の社会復帰の過程について考え、各グループで話し合う。(10分)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 参考動画の映像視聴（14分8秒、字幕映像）後に教員が、解説の補足説明を読み上げてからグループワークに移行する。</li><li>○ 意識が戻っているのにも関わらず、殻に閉じ込められたままであったピストリウスさんの気持ちを想像しながら取り組むよう促す。</li></ul>
<b>3 ワーク3</b> (10分) 障がい者が社会とつながるために、自分たちにどのようなことができるかを各グループで話し合い、意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 障がい者が、社会とのつながりをもつために私たちはどうすればよいかを考えるよう促す。このとき、グループ同士で意見を交換するなどして、自分たちの考えだけでなく他者の考えも取り入れ、生徒が広い視野をもてるよう配慮する。</li></ul>

## 3 解説

### (1) ワーク1について

世の中には様々な障がいがあることを知り、理解する。また、それぞれの障がいには私たちが気づきにくい障がい特有のニーズがあることを学習する機会とする。それぞれの障がい名はまわりと区別するための名前ではなく、接し方や支援方法を考えるためのヒントであることを伝えたい。

#### 1 視覚障がい

健常者にとって、ハイブリットカーの静かさは素晴らしい機能の1つである。しかし、聴覚で周囲の情報を得ることが多い視覚障がい者にとっては、その静かさが、近くに車がいることを知る上で障壁になり得る。

#### 2 聴覚障がい／自閉スペクトラム症

手話でコミュニケーションを取ることが多い聴覚障がい者にとって、カラフルな服や柄の多い服は手話を読み取る上で障壁となり得る。相手の手話の位置と服が重なっていると、相手の手元が見にくくなったり、目がちらついてしまったりして、長時間集中して手話を読み取ることが困難になることがある。また、視覚過敏のある自閉スペクトラム症者にとっても障壁となり得る。

#### 3 自閉スペクトラム症

自閉スペクトラム症は、次の2つの特徴をもつ障がいである。

①持続する相互的な社会的コミュニケーションや対人的相互反応の障がい

②限定された反復的な行動、興味、または活動

この障がいがある人たちは、相手の気持ちや周囲の状況、雰囲気を読み取ることが苦手なため、対人関係をうまく結ぶことができないことがある。また、感覚（聴覚、視覚、味覚、触覚など）の過敏さのある人もおり、大きな音は活動に参加する際に障壁となることがある。

### 【障壁となり得る身のまわりの物の例】

#### ○教室の掲示物

注意欠陥多動性障がい（ADHD）の人たちには、集中困難や多動などの特徴が見られる。この障がいがある人たちにとっては、必要な情報であるはずの掲示物も、情報過多となり、授業への集中を妨げるものとなり得る。

#### ○黒板に書かれた赤色の文字

先天性の色覚異常がある人にとっては、赤色と緑色は見分けが難しいことがある。緑色の黒板に赤色のチョークで文字を書くと認識しにくい場合があるので、白と黄色のチョークを主体に使用することが望ましい。また、色覚に配慮されたチョークもある。

#### ○建物や道の段差

身体的障がいのない人にとっては問題ない段差や階段が、車イスを使用している人には大きな障壁となり得る。

## (2) ワーク2について

ワーク2では、ピストリウスさんが抱えていた問題について気づくことができる目を養いたい。また、アロマセラピストがピストリウスさんに対して健常者と話すように話しかけ、注意深く観察し、かすかな動きの変化に気づくことができたという事実から、障がい名や目に見える障がいだけに気を配るのではなく、障がい者が本当に必要としているものに気づくために、注意深い観察と分け隔てのない接し方が大切であるということをお伝えしたい。

### <補足説明>

南アフリカ出身のマーティン・ピストリウスさんは、12歳の時に感染症にかかり、身体が動かなくなりました。次第に意識も失い、14歳の時には昏睡状態になり、医師からは「死ぬまでそっとしておくように」と告げられました。それから2年後の16歳の時に意識を回復し始めたが、依然、身体はほとんど動かさない状態だったため、意識が戻ったことを誰にも気づかれずに数年間過ごした。その間スタッフから肉体的、性的暴力を受け、介護に疲れた母親から「あなたなんて、死ねばいいのに」と言われ、辛く孤独な時を過ごす。そんな中、一人のアロマセラピストが、健常者と話すようにピストリウスさんの目を見て様々な言葉をかけ続けていた所、周囲からは単なる痙攣だと言われていたかすかな動きの変化が、言葉に対する反応であると気づきはじめ、両親にリハビリを受けさせることを強く勧めた。

その後のリハビリのおかげで、ピストリウスさんの身体機能の一部は回復し、得意となったパソコンを使って人工音声を通じてコミュニケーションを取ることができるパソコンソフトを開発した。そして大学で学位を得て、結婚もしている。

## (3) ワーク3について

ワークを通して、障がいには様々な種類があり、目に見えるものだけでなく「目に見えづらい困難」があるということや、相手をよく知ることで本当のニーズに気づくことができるということをお学ばせたい。学んだことをふまえて、どのようにすれば障がい者が社会とつながり、私たちに何ができるのかを具体的に考えさせたい。

### <参考動画>

「誰も知らなかったことー私の心はどの様にしてこの世に復活したのか？」マーティン・ピストリウス TEDウェブサイト ※神奈川県教育委員会ネットワーク 閲覧可能

### <参考資料>

「支援を必要とする児童・生徒の教育のために」神奈川県立総合教育センター（平成30年3月）

「学校における色覚に関する資料」公益財団法人日本学校保健会（平成28年3月）

「ゴースト・ボーイ」著者 マーティン・ピストリウス ミーガン・ロイド・デイヴィス

訳 長澤あかね PHP研究所（平成28年6月）